

◎磐田原歴史・古墳めぐりコース

出発地点・・・浄水場P

血松塚古墳⇒米塚古墳⇒銚子塚古墳⇒長者屋敷遺跡⇒新豊院山古墳(P有)⇒甌塚(こしづか)古墳⇒二子塚(ふたごづか)古墳公園(明ヶ島)⇒車で⇒兎山公園(P有)⇒御厨古墳群⇒松林山古墳⇒経塚古墳⇒稲荷山古墳



①血松塚古墳

磐田原で一番北西の位置にある血松塚古墳は、全長50m・後円部48m・高さ5.5mの前方後円墳で、豊岡地区では最大の古墳とされている。「血松塚」の由来は、かつて古墳の頂上に大きな松があり、ある人がそれを切り倒そうとした時に松から血が流れだしたので『血松塚』と命名されたといわれます。一説には、松の中に冬眠していた多数のヘビを切ったために、体液が流れだしたのではないかと、ともいわれています。



②米塚古墳

米塚古墳は直径40m、高さ6mを測る古墳時代、中期(1,500年前)に造られた円墳です。周辺部にも8基の小円墳が点在しています。



④長者屋敷遺跡

東西100メートル、南北80メートルのほぼ長方形に巡る土塁に囲まれた奈良時代の遺跡。奈良時代の役所の施設が豪族の居館と考えられている。



⑨御厨古墳群《国指定文化財》

新貝・鎌田地区にかけての地区にある、松林山(しょうりんざん)古墳・高根山(たかねやま)古墳・御厨堂山(みくりどうやま)古墳・稲荷山(いなりやま)古墳・秋葉山(あきはやま)古墳の5基の古墳が御厨古墳群として国の史跡に指定されています。県下最大級である。



⑪経塚古墳

経塚(きょうづか)古墳は全長約90mの前方後円墳であったと伝えられ、明治時代の東海道線の工事中に鏡が発見されています。この鏡は三角縁四神四獣鏡と呼ばれる鏡で、県の有形文化財に指定されています。



③銚子塚古墳《国指定文化財》

銚子塚古墳は全長108m、高さ8.5mを測る古墳時代前期(1,600年前)に造られた前方後円墳です。明治時代に三角縁神獣鏡が出土しました。古墳の周囲には濠が巡っています。小銚子塚古墳は全長46mを測る前方後方墳です。前方後方墳は、2つの方形の塚を重ねた形をしたものです。静岡県内には5例しか知られていない、珍しい形の古墳です。



⑤新豊院山古墳《国指定文化財》

太田川の平野を望む新豊院裏山に弥生～古墳時代の墓が造られました。この中には古墳時代にかわる頃に造られた墓や、古墳時代前期(1,600年前)の前方後円墳があります。弥生時代から古墳時代にかけての墓の移り変わりを知る貴重な遺跡として、国の史跡に指定されています。2号墳は全長約34mの前方後円墳で、三角縁神獣鏡(さんかくぶちしんじゅうきょう)と呼ばれる鏡や鉄・銅製の鏃(やじり)なども発見されました。



⑩松林山古墳

全長110mの前方後円墳で、三角縁神獣鏡や内行花文鏡、銅鏃、巴形銅器などを出土し、四世紀後半ころに築かれたものと見られています。前方部は、以前は茶畑として使われていたようで、くびれ部あたりとは大きな段差があります。茶畑を造るときに削平されたようです。



⑫稲荷山古墳

稲荷山古墳は、東海道線北側の連城寺の裏山にある古墳です。もともとは、秋葉山古墳とともに8基の古墳からなる、連城寺古墳群のひとつでしたが、他の古墳は消滅しています。前方後円墳で、前方部をほぼ北側に向けており、全長46.5m、高さ6mの規模で、壺形埴輪が見つかっています。

★近くでお買い物★ららぽーと磐田

主要テナントに食品スーパー「パレマルシェ」(本社:愛知県名古屋)が本店。店舗構成は、「パレマルシェ」を核に、地元の名産品をはじめ多種多様な食材を充実させたフードゾーンを展開。大型専門店やエリア初出店テナントを各所に配し、お客様の多様なニーズに応えるとともに、近隣のみならず広域からも幅広い年齢層のお客様に楽しんでいただけるような施設を計画。



⑥甌塚(こしづか)古墳

6世紀初頭(約1500年前)に、桶ヶ谷沼の南にある小高い山頂にも数基の古墳が作られました。このうちの1基が甌塚古墳です。甌塚古墳は静岡県内で最も早く横穴式石室を取り入れた古墳で、「いわたの王(きみ)」にふさわしい多数の遺物が副葬されていました。



⑦二子塚古墳(駐車場あり)

二子塚公園は住宅地の中にある公園で、二子塚古墳(前方後円墳)があることから名づけられました。遊具、広場、トイレ、駐車場があります。



⑧兎山公園(駐車場あり)

うさぎ山には、松林山や高根山など大小の古墳群あり、昭和40年(1965年)に兎山児童遊園、昭和43年(1968年)に兎山児童館が完成。ハイキング、サイクリング、古墳研究に訪れる人がある。軟式野球場、芝生広場等がある。

★磐田の特産品★



いわた茶

渋みが少なく、香りと甘みが強いのが、磐田原で摘まれる「いわた茶」の特徴です。